参考資料2

５　こころの健康度・生活習慣に関する調査 支援結果概要

(1) 電話による支援

ア　子ども

(ア)　支援者数

基準Ⅰ及び基準Ⅱによる子どもの支援対象者数及び支援実施者数は図 33 のとおり。なお、電話支援のほとんどは対象者の保護者に対して行われた。電話支援実施者数は 62 人、回答者数に対する割合は 4.5%であった。

電話支援希望確認ハガキ返信なしの 17 人には、「こころの健康度と生活習慣セルフサポートブック」を送付した。

また、電話支援実施者の男女別、調査時住所別は表 5、6 のとおり。

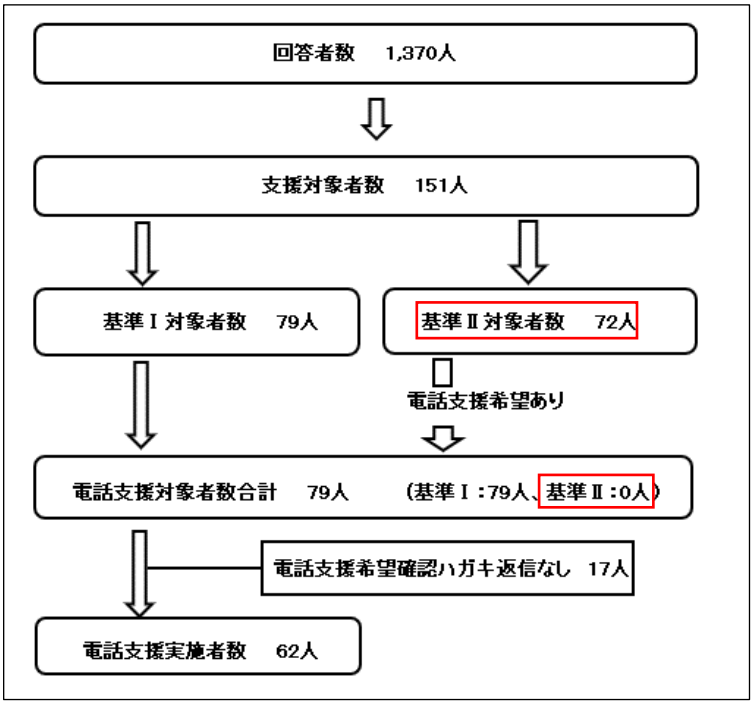


図 33　令和 6 年度　子どもの支援対象者数及び支援実施者数

表 5　令和 6 年度　電話支援実施者の男女別（子ども）

区　分	男児・男子		女児・女子		合計
全　体	42	(67.7%)	20	(32.3%)	62
0歳～3歳	2	(66.7%)	1	(33.3%)	3
4歳～6歳	7	(77.8%)	2	(22.2%)	9
小学生	22	(64.7%)	12	(35.3%)	34
中学生	11	(68.8%)	5	(31.3%)	16

表 6　令和 6 年度　電話支援実施者の調査時住所別（子ども）

区　分	県内		県外		合計
全　体	57	(91.9%)	5	(8.1%)	62
0歳～3歳	3	(100.0%)	0	(0.0%)	3
4歳～6歳	8	(88.9%)	1	(11.1%)	9
小学生	32	(94.1%)	2	(5.9%)	34
中学生	14	(87.5%)	2	(12.5%)	16

0000000000

問 10. 放射線の影響についてのあなたの考えをお尋ねします。

放射線のような、私たちの五感では感じることのできないものが原因となった災害では、その健康へのリスクをどのように認識するかが、こころの健康状態に大きく影響すると言われています。

1）放射線の健康への影響について、あなた自身はどのように感じて（考えて）いますか。最も当てはまると思う数字を〇で囲んでください。

		可能性は極めて低い	可能性は低い	可能性は高い	可能性は非常に高い
1	現在の放射線被ばくで、後年に生じる健康障害（例えば、がんの発症など）がどのくらい起こると思いますか。	1	2	3	4
2	現在の放射線被ばくで、次世代以降の人（将来生まれてくる自分の子や孫など）への健康影響がどれくらい起こると思いますか。	1	2	3	4

2）この１か月間に、放射線に対する不安が原因で、日常生活に支障をきたすことはどれくらいありましたか。**（✔はひとつ）**

1☐ しばしばあった　2☐ 時々あった　3☐ まれにあった　4☐ １度もなかった

問 11. 現在、こころや身体の問題が生じた場合、相談できる身近な人や各種機関はありますか。

1☐ ある　　2☐ 相談できる人や機関はない

※ご自身の体調や心配ごと、調査へのご意見等がございましたら以下にお書きください。
今後の健康管理、調査の参考にさせていただきます。

これで質問は終わりです。返信用封筒に入れてご返送ください。ご回答ありがとうございました。

〔お問い合わせ先〕
こころの健康度・生活習慣に関する調査（ここから調査）専用ダイヤル
福島県立医科大学　放射線医学県民健康管理センター
電話番号 ０２４－５４９－５１７０（ ９：００～１７：００　土日祝・年末年始を除く ）